

火災から大切な命を守るために

次の項目を確認し、確認したら 欄にチェックを入れましょう。

自宅から火災を出さないために

寝たばこはしない。

布団・ベッドに横になってたばこを吸うと、知らぬ間に火種が落ちて火災になることがあります。

寝たばこは絶対にやめましょう。

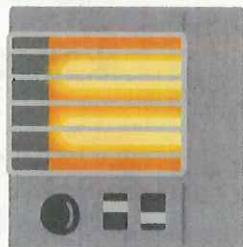


ストーブは、燃えやすい物の近くで使わない。

ストーブの近くに燃えやすい物が置いてあると、燃え移って火災になる危険性があります。

外出するときや寝るときは、安全のため必ずストーブを消しましょう。

電気ストーブによる火災が多発しています。注意してください。



こんろの周りに燃えやすい物を置かない。調理中は離れない。

こんろの周りに燃えやすい物を置いていると、なべ底からはみ出した火が燃え移ることがあります。

燃えやすい物は、コンロの周りに置かないようにしましょう。

てんぷら油は、温度が 360°Cになると自然に燃え始めます。

油を使っているときは、絶対に目を離さないでください。



コンセントの掃除をする。たこ足配線はしない。

長い間接続したままになっているプラグ（冷蔵庫など）は、ほこりがたまり火災になることがあります。時々プラグを抜いて、プラグとコンセントの掃除をしましょう。

たこ足配線をすると、流すことができる電気の量を超えた電気が流れて火災になることがあります。注意しましょう。



放火されないよう、家の周りに燃えやすい物を置かない。

家の周りを整理整頓し、燃えやすい物を置かないようにしましょう。



火災から命を守るために

□ 住宅用火災警報器を設置する。

住宅用火災警報器を台所、各お部屋、階段に設置しましょう。

住宅用火災警報器は定期的に点検し、故障していないか確認しましょう。



□ 身近にある消火器の設置場所を確認し、使い方を覚える。

消火器がどこに置いてあるか確認しましょう。

身近ない場合は、消火器を用意しておきましょう。

いざというときに備え、消火器の使い方を覚えましょう。



□ いざというときに備え、逃げみちを確認する。

火災のときに、家の中のどこを通って逃げるのかを想定し、事前に確認しておきましょう。

□ 火災になったときは、大声で周りに

知らせる。無理をせず、避難する。

火事だ！



火災を見たら、大声で周りに知らせましょう。

自分で何とかしようと思わず、無理をしないで家の外に

避難しましょう。

総合的な防火防災診断のご案内

東久留米消防署では、**高齢者の方やお体が不自由な方を対象**として、ご本人の了承を得たうえでお宅を個別に訪問し、火災、地震等の災害や家庭内の事故による被害の危険性について、改善方法のアドバイス等を行っています。

一回あたりの診断の所要時間は、約30分です。

ご希望の方、またはご相談・ご質問のある方は、東久留米消防署までお気軽にご連絡ください。

東久留米消防署 警防課防災安全係 地域防災担当
電話 042-471-0119 内線 311 323 324

